

Vol.64

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00062389

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



資料館だより



共通教育機構旧蔵
動物剥製標本「カンガルー」

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／開催案内／新館長就任挨拶
- 3… 令和2年度入館者数／資料館入館者数の推移
アウトリーチ展入場者数
- 4… 移管・寄贈資料

TOPICS

三代目「資料館懸垂幕」を更新して新たな気持ちで発進！

資料館展示室の外壁面に掲げた二代目懸垂幕(垂れ幕)も令和元年の春以来「資料館ここにあり！」とその存在を誇示してきましたが、連日の風雨と日照で満身創痍となり、その役目を次に譲ることになりました。

三代目となる資料館懸垂幕は、二代目が展示室風景をバックにしたデザインであったものから、白を基調に所蔵資料を配置したデザインとなり初めて「資料館」の表示がないものとなっています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染予防対策として一昨年度から引き続き3か月半の長きにわたり臨時休館を余儀なくされ、大幅な入館者の減に見舞われましたが、いまだコロナ禍にあるとはいえ、新調なった懸垂幕と同様に新たな気持ちで展覧会を開催したいとスタッフ一同願っています。

その第1弾として展示室では、前期企画展「金大資料館コレクション展2021：バックヤードの動物たち」を3月30日から開催しています。明治・大正時代に製作された動物の剥製のほか、当時、実物を見ることができない中で描かれた動物は、現代から見ると少し奇異な印象を受けるものもありますが、そういうことを含めて新しい発見をすることができるのではないのでしょうか。期間の途中では入替を予定していますが、8月27日(金)まで開催しますので、ぜひお越しいただきご覧ください。(新型コロナウイルス感染予防対策として、学外者の入館を制限しています。詳しくは当館のWebサイトをご覧ください。)



展示活動報告

令和2年度
後期企画展

「寿ぎの季(とき)―『加賀藩年中行事図絵』と『儀式風俗図絵』にみる祝事(いわいごと)―」開催

会期 令和3年2月3日～令和3年3月19日 会場 資料館展示室

「寿ぎの季(とき)―『加賀藩年中行事図絵』と『儀式風俗図絵』にみる祝事(いわいごと)―」と題した後期企画展を令和3年3月19日まで開催しました。明治から昭和初期に活躍した金沢の浮世絵師・巖如春は、写真記録のない藩政期加賀藩の暮らしの風景を綿密な取材に基づいて精細に描いた図絵を残しています。

本展では、金沢大学附属図書館所蔵の当該資料から、「祝事」として迎春・婚礼・子どもの成長祈願を描いた図絵を取り上げ、当時の風俗をふり返ると共に、作者・巖如春の人物像と如春が図絵の作成を依頼された背景にある「郷土教育」についても解説を加えました。モノ資料としては、金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵の如春の印と印譜を展示しました。印譜には展示した資料に押印されていた「想往知今」の印影が残されていました。丁寧に、そして色彩豊かに描かれた数々の図絵は、冬季の展示室に華やかな彩りを添えてくれました。



開催案内

令和3年度
前期企画展

「金大資料館コレクション展2021：バックヤードの動物たち」

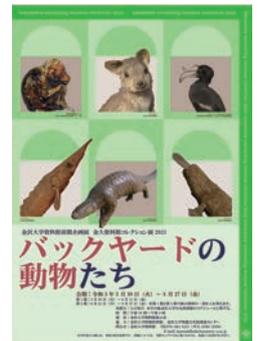
会期 令和3年3月30日～令和3年8月27日 会場 資料館展示室

ふだんはひっそりとバックヤードで暮らす動物たちが、展示室で一堂に会する企画展「金大資料館コレクション展2021：バックヤードの動物たち」を開催中です。

第四高等学校あるいはその前身校まで由来をさかのぼる剥製標本や教育掛図、宝町遺跡出土の動物形磁器製品や土人形たちを展示しています。

現在でも実物を見ることが難しいセンザンコウやカモノハシの剥製標本、今では世界でも有数のペンギン飼育国になった日本に、未だペンギンが1羽もいなかった時代のペンギン掛図…当時の学生たちはこのような教材をとおして見たこともない動物に出会い、世界の広さを知り、知的好奇心を刺激されたことでしょう。宝町遺跡出土の動物の形をした土人形の表情を見ると、現代に生きる私たちとそれほど変わらないセンスとユーモアを持った江戸時代の金沢の人々の日常に想いを馳せることができます。

ぜひこの機会にバックヤードの動物たちに会いに、展示室へお越しください！



新館長就任挨拶



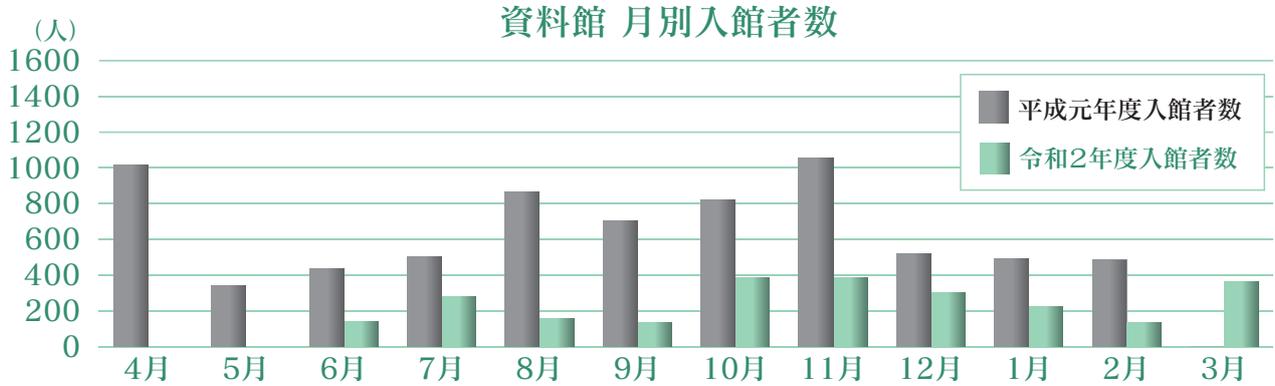
4月に奥野正幸前館長から本職を引き継いだ足立拓朗と申します。前館長の仕事を継承し、さらに資料館のパフォーマンスが向上するように精励する所存です。本資料館は長い伝統を誇る金沢大学(前身校を含む)とそれに関係した人々の記録を収集して、それらを展示する施設です。本館は、まさに金沢大学で青春を過ごした学生の思い出、そして研究・教育に携わった教職員の情熱を満載した場所、と言えます。また、多くの文書史料も所蔵しており、文書館としての役割も充実しています。

本館は角間キャンパス移転を契機に平成元年にオープンし、今年で開館33年目にあたります。開館時は城内キャンパス時代の資料保管が大きな機能だったと思います。しかし、これからは「角間キャンパスの歴史」をしっかり記録・継承していくのが、資料館の重要な役割だと考えています。ただ、喫緊の課題が「コロナ禍における安全な展示運営」であることは確実であり、まずはこの課題に真摯に対応していく所存です。また、他の重要課題に「埋蔵文化財調査センターとの統合」、「英文Websiteの構築」、「資料館の公文書館指定」が挙げられます。ただ、なによりも大学関係者だけでなく、近隣住民、そして全国の皆様にも、いっそう満足していただける施設に進化していけるように、館員が一丸となり運営していくことが重要と思います。今後も多くの方に来館していただければ幸いです。

2021年4月 資料館長 足立 拓朗

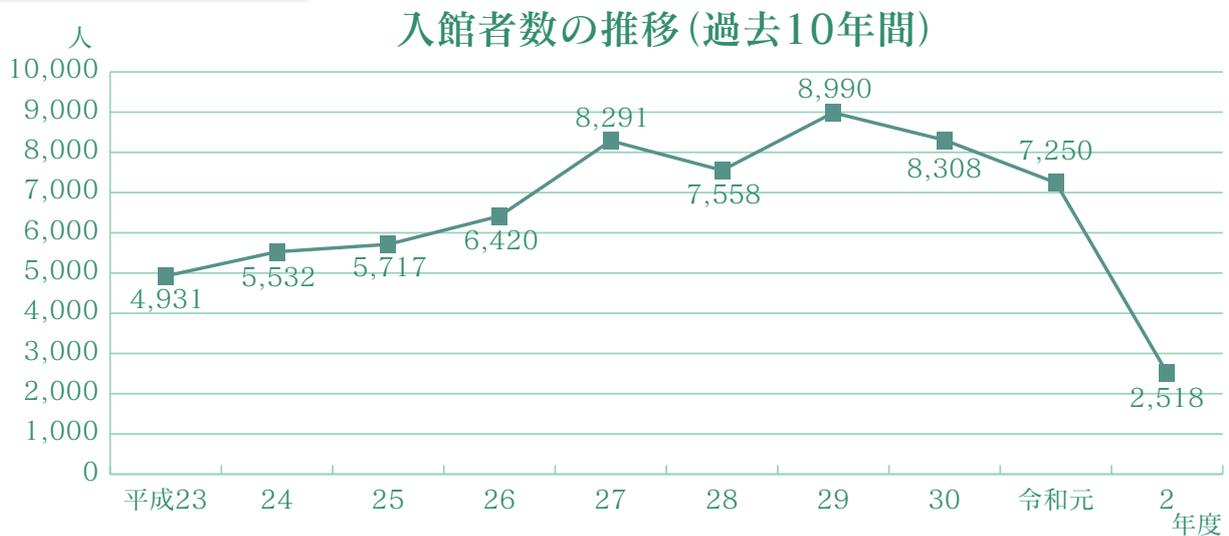
令和2年度入館者数

令和2年度の資料館展示室への入館者数は、新型コロナウイルス感染予防対策として前年度となる3月から引き続き6月中旬までの期間を臨時休館としたため、大幅な減少となりました。



入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	1,016	342	438	506	864	706	821	1,056	521	493	487	0	7,250
令和2年度	0	0	141	283	160	134	385	386	302	227	138	362	2,518

資料館入館者数の推移



アウトリーチ展入場者数

令和2年度 資料館アウトリーチ展入場者数

	会場	開催期日	開催日数	入場者数	備考
金沢大学資料館写真展 「あのころの金沢大学」	金沢城内河北門	R2.10.16(金) ～11.4(水)	20日	9,216	石川県兼六園 管理事務所調べ
計				9,216	

移管・寄贈資料

令和2年5月～令和3年4月
移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

移管

- 「古写真フィルム(スロイス, ホルトルマン, 津田淳三金沢医学館, 尾山病院)富士ミニコピフィルム缶入り(5点) 金沢大学附属図書館
- Konica I 50mm F3.5カメラ(1点) 地球社会基盤学系
- 旧教養部保健体育研究室コレクション一式 国際基幹教育院
 - ①実習アルバム(32点)
 - ②竹製スキーストック(1組)
 - ③最新人体解剖掛図(2点)
- 理工学域実験機器「化学天秤, 偏光顕微鏡」(3点) 理工研究域 物質化学系化学コース
- 理工学域実験機器「メノウ乳鉢 乳棒セット内径90mm, 120mm」(2点) //
- 医学部同窓会会員名簿等(14点) 医学図書館



Konica F3.5カメラ



最新人体解剖図



化学天秤

寄贈

- 錦絵「前田家繁榮之圖」(3枚組) 西村 聡 氏
- 機器類一式 9点 公益財団法人 金沢子ども科学財団
- 絵葉書(1枚) 江藤 浩子 氏
- 第四高等学校関係資料一式 入榮 隆純 氏



錦絵「前田家繁榮之圖」



絵葉書

編集後記

長引くコロナ禍ですが、1年前に世界各地で外出制限や都市封鎖が行われる中、全世界で声をそろえて真っ先に再開が求められたのが、博物館・図書館でした。奇しくも新型コロナウイルスの感染流行によって、人間が文化的・健康的な生活を営むために、これらの施設が必要不可欠な存在であることが明らかとなったのです。当館も、人間の好奇心を満たす様々な学術文化資料を所蔵・展示しており、来館者のみなさまの知的生活に資する施設として末永く在り続けるべきと思います。(松永篤知)

金沢大学資料館だより

第64号 令和3年5月発行



[発行/編集] 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>